茅ヶ崎市教育基本計画 令和8年度改定版（素案の案）の改定の主なポイント

1. 教育大綱と教育基本計画の一本化

次期茅ヶ崎市教育大綱の取扱いの方針として、令和6年10月に開催した総合教育会議にて、教育大綱と教育基本計画の連動性をより高めるとともに、本市の教育行政の方向性を市民により分かりやすいものとするため、「本市における教育振興基本計画である茅ヶ崎市教育基本計画をもって、教育大綱に代える」ことを決定しました。（素案の案 p.2）

2. 「基本方針別重点施策」を中心とした施策体系の見直し

計画策定後の社会情勢や国の動向、これまでの取り組みの成果及び課題を踏まえ、「基本方針別重点施策」を中心とした施策体系の見直しを行いました。（素案の案 p.20,23-57）

内容の追加・修正等を行った主な施策は次のとおりです。

○政策1 地域の教育資源を生かした学校運営（重点施策）

ICTを活用した学習環境のさらなる充実（重点施策）

共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育の推進（重点施策）

児童・生徒の抱える諸課題への学校の対応力の向上と安心して教育を受けられる環境の整備（重点施策）

○政策2 教職員の働き方改革と校務DXによる子どもと向き合う環境づくり（重点施策）

教育活動に役立つ研修の実施並びに情報の収集及び提供

○政策3 社会教育関係職員の人材育成

学びと交流を通じた地域の教育力の向上（重点施策）

青少年の居場所づくりと青少年育成に係る体制の整備

情報拠点としての図書館の充実

家庭教育・幼児期の教育を支えあう環境の醸成

○政策4 郷土の自然や歴史・文化を学び、ふるさと意識を醸成する教育活動の展開（重点施策）

地域の自然・歴史・文化を保存継承する拠点としての博物館の充実

○政策5 教育に関する基礎研究の推進（重点施策）

○政策6 教育施設の再整備（重点施策）

○政策7 栄養バランスのとれた学校給食の提供と食育の推進

児童・生徒の健康管理の推進と子どもを取り巻く環境の安全対策（重点施策）

3. 「政策の効果を確認する指標」の追加・修正

施策体系の見直しにあわせて、各政策の効果を確認する指標について、必要な追加等を行いました。（素案の案 p.35,41）

○政策2 教職員の時間外在校等時間の割合（1か月当たり45時間を超える教職員の割合）（%）

現在の職場を働きやすい職場と感じている教職員の割合（%）

「仕事にやりがいがある」と感じている教職員の割合（%）

○政策3 児童クラブの入所児童数（人）

4. 重点的に取り組むべき「市長部局との連携」の追記

計画前期において実施した取り組みや、社会情勢の変化等を受け、今後、重点的に取り組むべき「市長部局との連携」について、必要な追記等を行いました。(素案の案 p.45,48,56)

○政策4 博物館内にとどまらない博物館活動の展開

デジタルアーカイブの構築を受け、美術館や文化推進課市史編さん担当等有する資料の掲載・活用の取り組みを強化することについて追記しました。

○政策5 次世代育成のための情報交換や研修の実施

○政策7 子どもの未来応援対策の推進

全ての子どもが夢と希望を持てる社会の実現を目指す考え方や、保幼小中の切れ目のない支援の仕組みづくりを進めることについて追記しました。

5. その他

用語解説(注釈)を一括して資料編に置くなど構成・レイアウトの変更を行ったほか、全体を通して必要な文言の修正を行いました。